

49年白門会のホームページ ↓

<http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

わたしも年齢から、いままでにな

もうすぐ還暦世代にはいるわたしたち。いま新しい人生設計をもとめられている。中大クレセントアカデミーでも、そんな動きがみえる。「歌舞伎を楽しむ」というわたしの講座に、この春から新たな男性学員が増えた。「定年になったので、このさい歌舞伎をじっくり勉強したい」「家内が好きを多居に、夫婦で一緒にでかけよう」と。七年前の開講当初は女性の受講生が圧倒的だったが、わたしと同世代が少し上の男性が増えてきた。



## 真夜中の訪問者 49年白門会副会長 葛西 聖司

体験をするようになってきた。ひとつは「きょうの健康」。毎週金曜、教育テレビで生放送。夜8時。視聴率は決して高くないが、必ず、そしてじっくり見られている実感がある。

「柄」がテーマの番組。自分にその心配がある人はもちろん、家族、友人に必ず思い当たるので、見よう、相談しようというのだろう。生放送中FAXでの質問が次々にくる。「メタボリック症候群」「ダイエット」から「がん」「認知症の介護」「排泄障害」「白血病」など、重いテーマがむしろ多い。

私も含め他人事ではない。「高血圧」「腰痛」「頸椎のヘルニア」「不整脈」……笑われそうだがみんな思い当たる。いちばん番組にのめりこんでいるのはわたし自身だ。

こんなことがあった。歌手のささきいさおさんがゲストで、テーマは「带状疱疹」。本人の体験を放送して

三日後、わたしにその兆候が来た。ポチンとできた小さな発疹。痛くも痒くもないが、きつとこれが「带状疱疹」だとびんときた。ささきさんは仕事が多忙で、また母親の体調がすぐれず、心配を抱え介護と新幹線往復の日々。肩こりと思っていたら発病。わたしも同様だった。ストレスと疲労から、わたしたち世代が発症するらしい。幸い早期にワクチンで叩いたが、少し痛かった。

年齢がきたから共感でき、多くの患者さんや家族の救いになればと努めている次第。

安眠できない、夜中にトイレに何度も立つ、早く目が覚める……こんなことも身近だ。かつてない変化に？と痛い首をかきあげたのだが、そういうものだと思うようになった。夜中の過剰し方も、若い時の夜討朝駆け、徹夜麻雀、朝帰り……とは違ってきたはず。

そんな、われわれにびびったりの番組が春から担当になった。「ラジオ深夜便」だ。若い頃の受験講座やにぎやかDJの深夜番組ではなく、静かに語りかける役割。「葛西さん、力

病気は「きょうの健康」で癒し、眠れぬ夜は眩しいテレビではなく、闇の中「ラジオ深夜便」にダイヤルを、そして外出できる元気がでたら家のまわりを散歩したり「クレセントアカデミー」で学んで多居へ……。そう、このスローライフの入り口が、まさに、今のわたしたち。偶数月曜の夜は、あなたの枕元に、わたしが訪問者。ちよっと不整脈で「動悸」がアヤシイけれどそこは「同期」。お許しあって、ともにひとときを……。



(題字・葛西 聖司)

### CONTENTS

- 1 ページ
  - ★真夜中の訪問者 葛西 聖司
- 2 ページ
  - ★友へのメッセージ 渡邊 秀和
  - ★山崎会長が表彰
  - ★総会のお知らせ
- 3 ページ
  - ★東御苑散策レポート 増田 勝美
  - ★楽苦我喜(らくがき) 大谷 洋一
- 4 ページ
  - ★新年会レポート
  - ★125周年募金の状況
  - ★原稿募集
  - ★編集後記

# 友へのメッセージ

## 新米サラリーマンとして 再出発!!

渡邊 秀和(文)

なにしろ、罵倒などには慣れていて、苦情の承りはお手の物です。

私は、昭和49年4月2日に自衛隊幹部候補生に採用され航空自衛隊幹部候補生学校に入隊しました。

当時、世間での自衛隊の評価は「税金泥棒」呼ばわりが普通でした。3Kという言葉のとおり、きつい、汚い、危険が当たり前、もちろん給料は安く、一般会社に就職した場合よりも2万円は少なかつたように思います。そんな自衛隊の魅力といえは何か？

学校で学ぶには授業料が必要ですが、自衛隊では給料を貰って、頭と体を鍛えてもらえるので、勉強好きの私としては最適な就職先でした。お蔭様で55歳で定年となった今でも町内の運動会では活躍できる体力を持っています。頭脳の方は鍛えようがないのか、ボケがひどくなっていますが、自衛隊の最大の欠点は、定年が早いことです。このため、子弟の教育にお金がかかる時に第二の就職を目指さなければなりません。幹部自衛官のもっともポピュラーな再就職先は、損害保険会社の交通事故処理担当です。ほとんどの幹部自衛官は忍耐強さを美質として持っています。この美質を発揮できるのが損保です。

さて、私は幸いにも、防衛省とつながりのある島田理化学(株)で勤務しています。この会社は、旧海軍の研究所に勤務していた技術将校たちが敗戦後に設立した経緯があります。

彼らは、戦争中、爆撃に来るB-29に強力な電波を浴びせてそのエンジンを停止させるための電波発射装置を研究していたそうです。

現在でも防衛省、国土交通省などの各種レーダーで重要な機能を果たすロータリージョイントを供給しています。皆さんが空港へ行かれるとレーダーのアンテナがぐるぐる回っているのを見えると思います。レーダーは電波をアンテナから放射し、飛行機で反射され戻って来た微弱な電波を再度アンテナで受けて信号として処理しその位置、高度を測定します。レーダーのアンテナと送受信機を接合する部分に使用されているのがロータリージョイントです。アンテナは回転し送受信機は固定されているので普通のケーブルではよく切れてしまいます。回転部と固定部を結合させるのが立体回路のロータリージョイントです。

ですので、私の仕事も当然「防衛装備品に関連した商品開発・システムデザインへの参画」となっています。私は、航空自衛隊では、レーダーなど通信電子機器の整備・補給分野の業務に携わってきたので仕事のテリトリーからは延長線上にあります。

営業の第一線で働いている方からみれば天下りに見えるかもしれませんが、しかし、給与は現役の半分以下かつ通勤と勤務時間は現役と変わりありません。たまに会う現役の自衛官の皆さんからも「毎日出勤しているんですか？」と質問される始末で心外なのですが、一所懸命に誤解を解いているところです。49会の会員の方もくれぐれも誤解なきようお願い申し上げます。どんなに誤解を受けてもこれまで苦楽をともにしてきた妻だけは職場での苦勞をわかってくれておりますのでそれだけが慰めです。戦争をしなかった自衛隊でも過労死した人が周りに何人もいます。せっかくなのでこれまで生き延びてきたのだからこれからは息を抜いて自分と世の中のために生きようと思っっているこの頃です。皆様におかれましても、人生を大事に未永く、伴侶と仲良く添い遂げられるように願っています。

### 2007年度 総会のお知らせ

「49年白門会」の2007年度の総会が開かれます。

総会では、同期で中国に詳しい木村真さんの講演があります。中国の裏事情についての興味深いお話が聞かれますので期待してください。

総会終了後、懇親会もあります。会員の皆様のご出席をお待ちしております。

日時：平成19年7月7日(土)

午後3時～時半より受け付け

場所：中央大学理工学部校舎

(東京都文京区春日1-13-27)

懇親会：午後4時～6時。同校舎

会費は5千円です。

### 山崎厚太会長が 表彰されました

5月12日に行われた「定時学員総会」で、山崎厚太会長が、平成19年度の表彰学員として表彰されました。6年間支部長を務めたことに對する表彰です。

当日は、49会の会員も多数出席し盛大な拍手でお祝いしました。49会も7周年をむかえ、年次支部の中では中核の年次になってきました。

### 山崎司平法律事務所

第二東京弁護士会所属  
野方警察・被害者支援ネットワーク会長  
中大法学部非常勤講師(憲法)

辯護士 山崎 司平

東京都中央区銀座3丁目10番9号 共同ビル6階  
電話 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280

### 主要取扱申請書類等

- ◇ 建設業・工事入札・産廃業・宅建業
- ◇ 風俗営業・会社設立・会計帳簿作成
- ◇ 外国人在留手続・帰化・国際結婚
- ◇ 遺言書作成・遺産分割協議書作成

法律相談 申請書類作成 提出手続代行

行政書士 増田勝美 電話 03-3491-9880

# 皇居東御苑の 春を愛でる 増田勝美(法)

3月10日の土曜日、地下鉄東西線の竹橋駅に7人の49会メンバーと木村真君、山崎司平君の奥さんが集合し、皇居の東御苑を散策した。配られた明治16年測量の地図と最近の地図を持ち、今と昔を重ね合わせながら北詰橋門へ向う。ほとんどの方が東御苑を訪れるのは初めてとのこと、北詰橋門を入ったところから感嘆の声頻りであった。

途中既に紅梅が咲き、春の花を眺めながら門を入るとすぐ天守閣跡天守台があり、登る。明治の地図には天守台が測候所と記入あり。また時の変化が最近の地図では皇居には吹上御所、宮中二殿等こと細かに記入



鉄橋に到着し記念撮影となる。二重橋とは正門鉄橋を言うとのこと。しかし、二重に橋が見えるから二重橋と言う方が自然のように思う。ここまで2時間。予定外の赤レンガ建物の法務省を見、本日の目的の3「ちゃんちゃんこ」へ。風邪を引いてしまった中島章夫君もここから合流。店を経営する中大の先輩の

されているが、明治の地図は白紙。天守台を降りて本丸大奥跡を歩き、石室、松之大廊下跡(本丸表跡)、富士見櫓、白鳥濠脇展望台を過ぎ、本日の目的のひとつ「三の丸内蔵殿」を訪ね、寿(ことほぎ)の美を鑑賞した。よく目にする「旭日双鶴図」などの展示があり、「百福之図」は五百羅漢を髣髴させる面白い構図であった。

総じて、御苑は手入れの行き届いた広い敷地のところに、入苑者も発券制限があり、人まばらで、心落ち着く空間であった。小休止後、目的その2、皇居正面にあるふたつの橋、正門石橋、正門

# らくがき 楽苦我喜 大谷洋一(法)

この歳になって、初めてサーカスを見ました。「サーカス」と聞けば、空中ブランコや猛獣や象を操るショー、笑いを誘う道化師たちの軽妙な動きと、どこか哀愁を帯びた例のメロディー……。そんなイメージを保持していました。

ところが、シルク・ドゥ・ソレイユによる「ドラリオン」は、私のそのイメージを完全に裏切ってくれました。例えば、空中ショーは、肉体の力強さと柔軟性を誇示するような空中ブランコではなく、アクロバットのモダンバレエとも言えそうな、物語性、いや芸術性をもった妙技だったのです。天井から吊り下げられたワイヤーの先に引掛けた金属製のフープを使って、舞うように動きまわる様、ワイヤーの換わりに美しい1本の布だけを使って、重力などまるで無視をしたかのように、軽々と上下しながら、神秘的に演じる様。洗練された衣装、工夫された舞台装置、効果的な音響・照明の使用と相俟って、会場という限られた空間を越えた、ある種の世界観のようなものが確かに描き出されていました。スポーツなら何でもござれだった私が40歳になる前に腰を痛め、運動といえば、ウォーキング程度。休日にはごろ寝をしながら読書の日々を過ごしてきました。が、50歳を過ぎ、自分に残された時間を意識するようになってから、考えを変えました。体が動くうちに、そしてボケないうちに、得られる感動は全部得ておきたい、見たことのないものは出来るだけ見ておきたい、行ったことのない所へは、出来るだけ実際に行ってみたく。

話題の映画・ミュージカル、名所・旧跡を訪ねる小旅行、若い頃の自分では考えられないような余暇を過ごし、素直に感動する自分を、もう一人の自分が楽しんでいきます。そして、もちろん、49年白門会事業部による様々な行事も、私の感動メニューの一つになっています。

ご配慮で山盛りの美味しいちゃんこ鍋を頂いた。そのため2時間の散策で燃焼したカロリーを、2時間かけて補充してしまうという落ちが付い

えつご期待

**第18回中央大学ホームカミングデー**  
開催日 平成19年10月28日(日)  
午前9時45分(開場)～午後4時  
会場 中央大学 多摩キャンパス  
開会式は10時15分からです。演奏会、応援部演技、模擬店、施設見学会、福引抽選会等、盛りだくさんの企画があります。49年白門会の旗の下に集まり、秋の一日を是非お楽しみください。

歌舞伎、映画、落語などから心に残るセリフを語る。

## ことばの切っ先

心にせまるセリフ

葛西聖司 (NHK アナウンサー) 著 菊地ひと美 絵  
古典芸能番組に携わってきた著者が、虚構の世界で語られるセリフの魅力を解き明かす。

小学館 ●定価1,890円(税込) 好評発売中!

4-09-387646-0

# 寄付はオークションで!!

## 新年会

2007年  
1月27日(土)

恒例となった1月の最終土曜日午後3時からの「銀座Sum-mi 高松」での49年白門会の新年会は、新潟名古屋からも駆けつけてくれた34名が集まり、NHKアナウンサーの葛西聖司さんの名調子の司会で、スタートから盛り上がりしました。



設立以来7回目の新年会は少々マンネリ化してきたので、半年前から

幹事団が演出を考えてきたのが「オークション」。125周年記念の寄付金を全員が抵抗なく、いかにして出せるかのアイデアがこれでした。

半数以上の参加者が持ち寄ったお宝は、自作の徳利と猪口セット、公式卓球ラケット、バカラのグラス、著作本からコシヒカリ、イチゴ、川越銘菓など31種類61点。なかには勲章なんてのも出回されました。

葛西さんの商品説明とオークションの司会・宮川保さんの名コンビでオークションに掛けられました。

数人が千円から五千円までせりあつて落札されたものから、バナナの叩き売りのごとく値が下がっていくものまであり、それでも定価の3〜5割の値段で落札されていきました。

一番高値で落札されたのは、自作の徳利と猪口セットの6千円、一番安かったのがワインクーラーの3百円。持ち込まれたお宝は全て落札さ

## 編集 後記

### 財布の中が きつ〜い

ジュンブライド、6月の結婚は幸せを招くと言う。私も甥や姪っ子を始め、職場や関係先などの方の結婚式や披露宴に立て続けに招待を受けている。五代後半に入り、年代的にも丁度招待を受ける時期にめぐり合っているのだろうか。今年は特に集中している。

親戚筋は色々親戚付き合いの中で、新郎であれ新婦であれ、小さい頃から合計が91,500円、125周年寄付金として49年白門会の名で金額寄付いたしました。

2次会は歩いて3、4分の「銀座ライオン」の「入母屋」に13名が集まりました。途中から増田さんが駆けつけ、14名がひとつのテーブルを囲み2時間近く歓談しました。

今回の新年会には、2名が初参加働き続けてきた会社人間も、目先を会社から他に向けるようになってきました。55、56歳が中心の我々も、徐々に会社から同窓会へ関心がシフトしてくる年代になってきました。皆様の周りで未入会の方がおりましたら、是非一声掛けて会に一緒に来てくださ。一人が一人を連れてくれば大きな会になります。(広報部)

### 125周年記念事業 募金協力の状況

平成13年からスタートした「創立125周年記念」の募金活動で、申込団体名に「49年白門会」と指定した寄

付申込金額は、今年の3月末現在で121万円です。「49年白門会」名での寄付金は、新年会のオークションを含めて約30万円です。個人での寄付申込者は12名です。「49年白門会」と指定すれば、5%が支部に還付されますので、協力お願いします。

お願いされると迷惑千万である。この種はできるだけ辞退を申しあげているのだが、今月はジュンブライドと言ふこともありお招きに預ることとした。

我が家にも年頃の娘が二人いるが、今のところ結婚話はなさそう。父親として安心していいのやら悪いのやら。結婚式はジミ婚でお願いしま〜すが本音。(千葉幸嗣)

### 原稿募集

次号掲載の「会員からのエッセー」では「お祭り」というテーマで皆様からの原稿を募集します。

地元の祭り、思い出の祭り、人生の祭り、お祭り気分のお出来事、お祭り騒ぎをした思い出など、「お祭り」に関するエッセーを紹介してください。

400字前後でお書きになつて、事務局までにお送りください。締切りは10月末日です。広報部から直接、手紙やメールで依頼することもありますので、ご協力お願いいたします。

### 会費の納入についてのお願い

49年白門会は会費によって運営されています。未納入の方は、是非、会費を納めてくださるようお願いいたします。

年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。

①郵便振替 (手数料は不要です)

振替口座番号「00180-3-196081」

口座名称「49年白門会」

②銀行振込 (振込手数料が必要)

銀行名 三菱東京UFJ銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」

口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

### 49年白門会連絡先・事務局

※住所・勤務先変更、新規会員紹介、お問い合わせ等、何でもご連絡ください。

※年2回発行するこの会報へ、広告の出稿、詩、俳句、エッセー等の原稿、企画案、ご意見をお寄せください。

49年白門会幹事長 中島章夫

東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学生会事務局

電話 03-3219-6175 FAX 03-3219-6177

※メールアドレスの登録・変更は

hakumon@gray.plala.or.jp にご連絡ください。